

目次

1面

朝鮮の衛星打ち上げと日本政府の対応
朝中日人民の団結の道を歩もう

土松克典

現代を生きる四〇代の発言
分断と孤立からの脱出口はどこに

安在郷史

2面

HOWS 講座報告
ゆらぐ水の安全と公共性
PFASと水道行政の分割移管・民営化路線
菖蒲谷眞一（全日本水道労働組合書記次長）

川柳

笑い茸

3面

労働時評
「三位一体の労働市場改革」のねらい
求められる労働組合運動再構築の論理

吉良 寛・自治体労働者

イラスト通信
「常駐フリー」という働き方について

広浜綾子

労働者通信
神奈川の教職員組合が「働き方改革」シンポ
「スト権」は求められている

藤原晃・学校労働者

4面

《2023年夏季釀金アピール》
いまこそ労働者が戦争を止めるとき
岸田政権の壊憲攻撃・軍拡路線と闘おう！

〈活動家集団 思想運動〉 常任運営委員会

関東朝鮮人大虐殺一〇〇年とどう向き合うか①
関東大虐殺・隠蔽の一〇〇年
今こそ国家責任を問うべき時

西崎雅夫（一般社団法人ほうせんか）

現在まで一貫している朝鮮人差別
関東大震災と船橋送信所

堀川久司（千葉県船橋市在住・日朝友好千葉県の会）

催物案内

5面

関東朝鮮人大虐殺を問う院内集会での連帯挨拶から
若い世代で過去清算を訴える運動を！

宋知樺（在日本朝鮮留学生同盟中央国際部長）

原発事故被災者の声（39）

海をこれ以上汚すな

海洋投棄は「緩慢な殺人行為」である

國分富夫（原発事故被害者 相双の会）

キューバは米国や他国にとって脅威ではない

ブルーノ・ロドリゲス - パリージャ外務大臣の談話

国際短信 世界のいま

〈IMCWP〉次回の共産党労働者党国際会議はトルコで開催

編集部

6面

朝鮮半島の情勢をどうみるか（連載・第18回）

岸田首相の首脳会談発言の背景

李俊植（朝鮮大学校教授）

米国の核の傘の下での日韓両首脳

「韓国人原爆犠牲者慰霊碑」訪問

市場淳子（韓国の原爆被害者を救援する市民の会会長）

「安保三文書」で自衛隊と海保の連携強化

「軍事と治安の融合化」が進行

清水雅彦（日本体育大学教授・憲法学）

7面

国際情勢と中国外交

「反中揃い踏み」の場となった広島サミット

浅井基文（国際問題研究者）

『国際主義』第7号（7月発行）の主な内容

8面

G7、気づいてみれば少数派

「黄昏クラブ」と化した広島サミット

岡田充（ジャーナリスト）

9面

ギリシャ共産党が意義ある議席増

人民への希望のメッセージ

キューバ・ブリガーダに参加

執念で貫徹した一人旅

田沼久男

10 面

HOWSの講座案内 7月、夏季セミナー

中村正義の美術館を訪ねて

《顔》に示された自己と自己の生命の肯定

松岡慶一

芸術活動家としての中村正義

金山明子（画家）

前照灯

上野千鶴子よりも宋慶齡女史

11 面

有島武郎とティルダ - ヘック

——スイス紀行から

立野正裕（元明治大学教員）

12 面

紙つぶて

HOWS二瓶久勝講座に参加して

鈴木佑和（全農林）

目取真作品への新しい視角

仲村豊（茨城県在住）

頂門一針

資本主義への依存からの脱却を

「おきなわ」豊里友行写真展〔7月14日（金）～17日（月・休）本郷文化フォーラム・ホール〕

感じてください、ウチナーを一「戦争が見える島」の思い

——豊里友行さんのギャラリートーク決定——

大舘まゆみ

編集部発